

週間漁海況情報 2023年第12号

令和5年3月21日発行

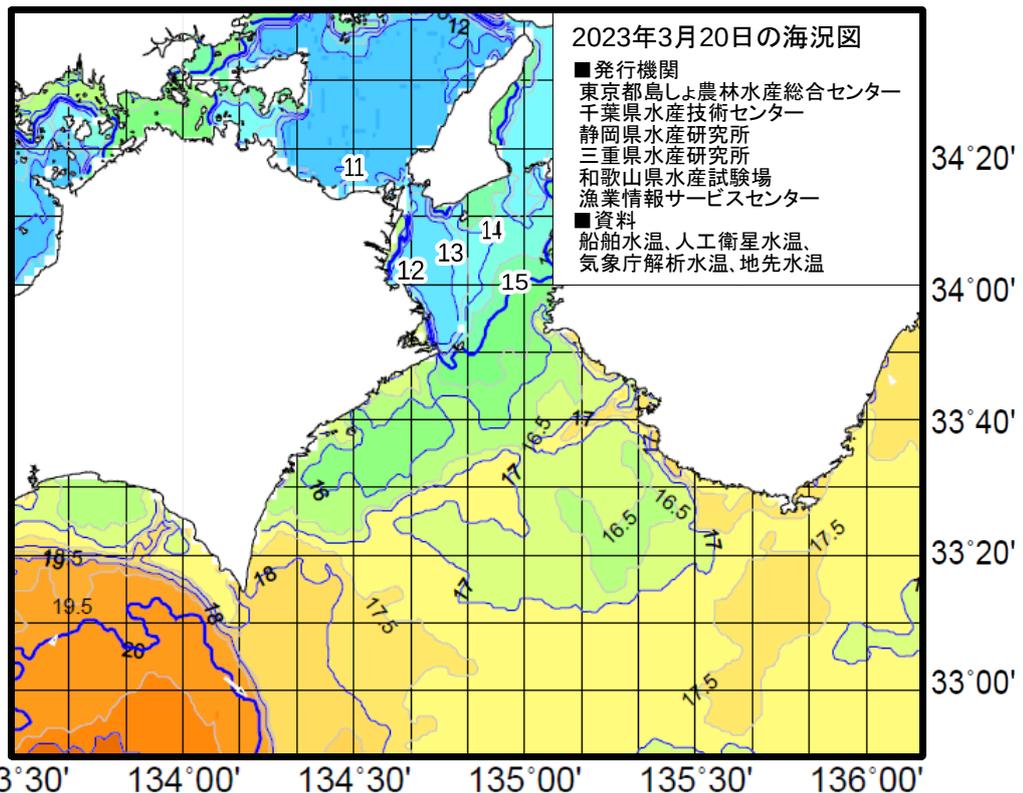
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖50マイル、潮岬沖150マイル以上を流れ、室戸岬で「離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。室戸岬から離岸しているが、黒潮からの暖水波及が南から紀伊水道中央部へ見られる。

黒潮の表面水温は19～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が10～11℃台、紀伊水道が10～15℃台、海部沿岸が15～17℃台となっている。

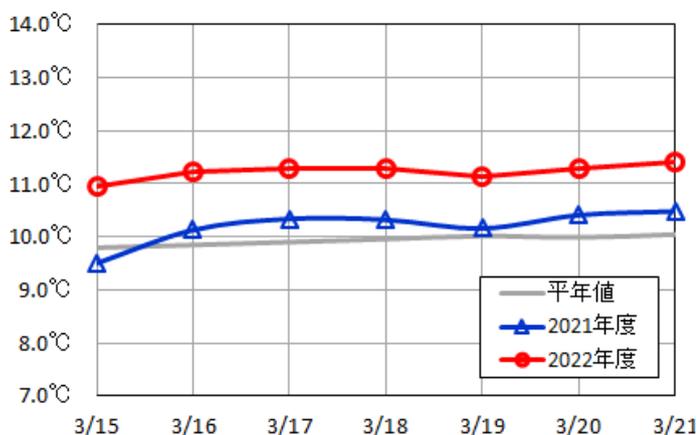


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
 潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。
 直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

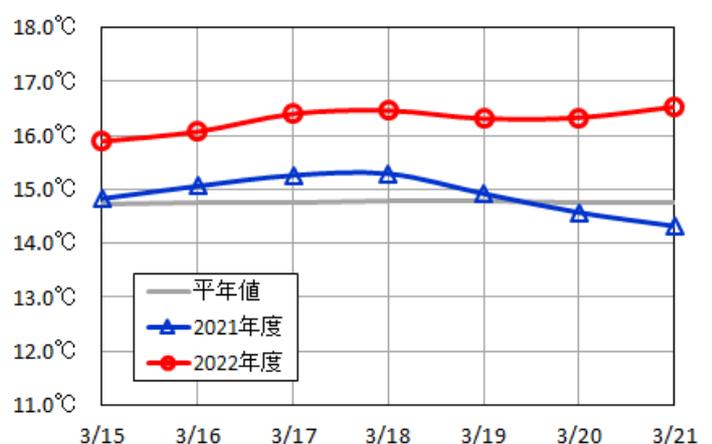
2. 地先水温(3月15日～3月21日)

鳴門地区の水温は、10.9～11.4℃で「やや高め」、日和佐地区は15.8～16.5℃で「やや高め」から「高め」で推移。鳴門と日和佐地区の水温差は4.82～5.1℃で、先週より若干狭まった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上
 ※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(3月22日～3月28日)

黒潮は、室戸岬で「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」、日和佐地区で「高め」に推移する見込み。

漁況 (3月13日～3月19日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

船びき網では、シラスが2ト水揚げされた。
 延縄では、ブリが大きく減ってめじろ級主体に1.6ト水揚げされた。
 建網では、メジナが大きく増えて0.7ト、カワハギが大きく増えて大主体に0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、ブリが増えてめじろ級主体に1.4ト、マアジが0.8ト、マサバが大きく増えて小
 小主体に0.3ト、ヒラメが増えて0.3ト、イサキが大主体に0.3ト水揚げされた。
 底びき網では、マダイが大きく減って0.4ト、クロダイが減って0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、ブリが減って0.5ト水揚げされた。
 延縄では、あまだい類が減って0.3ト水揚げされた。
 建網では、ブリが大きく減って0.5ト水揚げされた。
 小型定置網では、マサバが大きく増えて2.2ト、カタクチイワシが大きく減って0.9ト水揚げされ
 た。
 大型定置網では、ブリが大きく減って6.2ト、マアジが大きく減って特大主体に1.2ト、マルソウ
 ダが大きく増えて0.5ト、マサバが大きく減って小主体に0.4ト、イシダイが大きく増えて大主
 体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.20トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あた り(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	25	シラス	2,025	81		→
	延縄	48	ブリ	1,551	32	めじろ級主体	↘↘
	建網	56	メジナ	661	12		↗↗
		53	カワハギ	264	5	大主体	↗↗
	小型定置網	10	ブリ	1,419	142	めじろ級主体	↗
		8	マアジ	837	105		→
		2	マサバ	332	166	小主体	↗↗
		11	ヒラメ	277	25		↗
		5	イサキ	251	50	大主体	→
	底びき網	14	マダイ	385	28		↘↘
15		クロダイ	238	16		↘	
海部沿岸	釣り	25	ブリ	509	20		↘
	延縄	15	あまだい類	279	19		↘
	建網	6	ブリ	453	76		↘↘
	小型定置網	6	マサバ	2,245	374		↗↗
		9	カタクチイワシ	947	105		↘↘
	大型定置網	6	ブリ	6,229	1,038		↘↘
		4	マアジ	1,174	294	特大主体	↘↘
		4	マルソウダ	534	133		↗↗
3		マサバ	371	124	小主体	↘↘	
	5	イシダイ	229	46	大主体	↗↗	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘